

# 指定管理者に関するモニタリングシート

黄色のセルを施設担当課が記入

## 1 施設の概要

(モニタリング実施年度: 令和 5 年度)

施設の名称	東大阪市立ウィルチェアスポーツコート	指定期間	2 年度～	21 年度
		指定の方法	複数施設を一括指定管理	
施設所管課	都市魅力産業スポーツ部 スポーツのまち推進室 花園・スポーツビジネス戦略課	連絡先	06-4309-3019	
設置目的	障害の有無や年齢、性別にかかわらず誰もが共にウィルチェア(車いす)スポーツをはじめとするスポーツ及びレクリエーションを楽しむ機会を創出するとともに、ウィルチェアスポーツの振興及び普及を図る。			
施設内容・業務内容等	各種ウィルチェアスポーツの他、バスケットボールやテニス、レクリエーション等幅広い目的で利用できる屋外型コート。その利用者対応や施設を良好な状態に管理する。			
指定管理者	東大阪花園活性化マネジメント共同体	連絡先	072-961-3668	
人員体制	正規職員	5 人	パート・アルバイト	8 人
			その他	0 人

## 2 管理運営状況等

年度	実績			今年度(予算)	次年度(見込)
	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
管理形態	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
供用(開館)日数	73	309	365	366	365
指定管理委託料(千円)	3,000	9,000	9,000	9,000	9,000
利用状況	1 年間利用者数(人)	400	9,134	10,977	補足説明 ・令和2年度は1月の試行の際の人数と2月1日以降の人数。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により臨時休館。 R3.4.25～R3.6.20 (5月に1日間開館日あり)
	2				補足説明
	3				補足説明

※ 令和3年1月18日より指定管理者制度を導入。令和3年2月1日より供用開始。

### 3 モニタリングの総括

「個別評価」(自動表示): S=チェック項目が全てO、A=×がなく「得点」が中間点以上、  
 B=×がなく中間点未満あるいは×が1個で「得点」が中間点以上、C=×が2個以上。  
 「最終評価」(任意決定): 個別の評価結果を踏まえて、評価者の裁量で決定する。

モニタリングの観点	施設担当課のモニタリング	
	個別評価 S A B C	評価できる点や要改善事項
<b>A</b> 行政視点 施設の設置目的が達成でき、事業の継続性が期待されるとともに、市民の安全の確保が図られているか？	S	計画通り運営されている。
<b>B</b> 管理・運営能力 人員・予算等の資源を管理し、快適に施設や設備等を利用できる環境を整備しているか？	S	問題なく管理・運営されている。
<b>C</b> サービス 平等な利用の確保及びサービス向上が図られているか？	A	通常サービスは問題なく提供がなされている。 前回モニタリング時に指摘のあった名札着用については、会社としてスタッフの名前は公表しない方針とのことで着用していない。スタッフということがわかるユニフォームの着用で対応しているとのことだが、番号等でもスタッフを識別できるものの表示を求める。 また、外国人向けのサービス面での配慮を拡充できるよう求める。
<b>D</b> 市民視点 市民の声が反映される管理・運営が行われているか？	B	今年度は利用者に対するアンケートの実施はできていない。今後ウェブでの実施を検討している。前回のモニタリング時は紙ベースでのアンケート実施で利用者に負担を強いている部分があり、ラグビー場と合同で実施しているため、ウィルチェアスポーツコートの利用者に絞ったものではなかった。今後の運用改善に期待する。
<b>E</b> 効果・効率性 施設の効果を最大限発揮しようとするとともに、管理経費の縮減が図られているか？	A	概ね適切に運営されているが、今後はさらに学校や地域と連携を図るよう検討されたい。
<b>F</b> 法令等遵守 法令や各種規則等を理解し、遵守することで、社会的責任を果たしているか？	A	昨年のモニタリング時に指摘した、情報公開制度について、プライバシーポリシーを設定しウェブサイトに掲載するなど改善が見られた。 自主事業についてなど、情報が適切に公開されている。 引き続き利用者にとって有用な情報公開を求める。
課題への対応 今後の取組	最終評価 (任意設定)  A	アンケートについて、効果的な方法を検討し実施してほしい。 ウィルチェアスポーツ施設の特性を考慮し、より良いサービスができる工夫を求めたい。